

● 報告事項 ●

令和3年度通常総会における決定事項

令和3年5月16日（日）に開催された公益社団法人日本透析医会通常総会において、令和2年度事業が報告され、続いて令和2年度財務諸表、役員（理事及び監事）選任についての議案の審議が行われ、それらが原案のとおり承認された。

その通常総会の議事録及び関係資料を掲載する。

通常総会 議事録

【日 時】 令和3年5月16日（日）14時00分～14時40分

【場 所】 ステーションコンファレンス東京 602A（6F）
（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー）

【会員総数】 1,090名

【出席会員】 761名（内訳：本人出席4名、委任状出席757名）

【出席役員】 会 長：秋澤 忠男 副会長：篠田 俊雄 専務理事：宍戸 寛治
理 事：安藤 亮一
監 事：岩崎 文昭（WEB（Zoom）による出席）

【定足数報告】

- ・開会に先立ち、事務局から、「本日の通常総会の出席会員数は、定款第17条の規定に基づき定足数を満たしているため、本通常総会は有効に成立した」旨が告げられた。

【会長挨拶】

- ・秋澤忠男会長から、「会長就任から6年となるが、会員の皆様のご協力によりこれまで法人運営をしてきたことに対する御礼、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、昨年と同様の通常総会開催となったが、今後とも会員の皆様のご意見を伺った上で法人の運営に当たってまいりたい。」との挨拶があった。

【議長選出等】

- ・本日の通常総会の議長選出が諮られ、異議なしと認められ篠田俊雄氏が選任され、篠田議長から挨拶があった。
- ・続いて、令和2年9月1日にご逝去された澤 宏紀元理事、また令和3年5月2日にご逝去された杉崎弘章 監事のご冥福をお祈りし、出席者全員で黙とうが捧げられた。

【議事録署名人選出】

- ・議長は、議案の審議に先立ち、議事録署名人について次の2名の理事を指名し、議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人：宍戸 寛治 安藤 亮一

【議事内容】

1. 報告事項「令和2年度事業報告」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「令和2年度事業報告」に基づき、役員会等（通常総会・通常理事会・常任理事会・各種委員会）の開催状況、事業の実施状況（透析医療及び腎不全対策に関する①調査研究、普及、

教育研修事業、②研究助成事業、③安全対策事業、及びその他の事業)、会務報告及び法人の概況等について詳細な報告が行われた。

2. 審議事項

(1) 第1号議案「令和2年度財務諸表の承認を求める件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「令和2年度財務諸表」に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表等について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や会議等がWEBにて開催となったことなどにより、それらに関する費用が前年度に比べ大幅に減額となっているが、これらの状況を踏まえ昨年度創設した創立40周年記念事業積立資産に2百万円を積み立て9百万円としたこと、また公益目的事業における収支相償がプラスとなる余剰金については、令和3年度及び令和4年度の事業を実施していく中で解消できる見込みである旨を含め、詳細な説明があった。

続いて、岩崎文昭監事から、通常総会資料「監査報告書」に基づき、令和2年度事業及び財務に関する監事の監査報告があった。

以上の説明に基づき、議長により、「令和2年度財務諸表の承認を求める件」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により原案のとおり承認された。

(2) 第2号議案「役員（理事及び監事）選任の件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「役員（理事及び監事）選任の件」に基づき、本通常総会の終結をもって29名の理事全員並びに監事1名が任期満了となることに伴い、理事29名（重任予定27名、新任予定2名）及び監事1名（新任予定）の選任について提案がなされた。

議長により、「理事29名（重任予定27名、新任予定2名）の選任に係る一括での採決の可否」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により「一括での採決」が承認され、次のとおり理事29名が出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

次に、監事1名の選任について採決が行われ、篠田俊雄氏が出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

理事（重任）（27名）

秋澤忠男	東 仲宣	安藤亮一	伊藤孝史	今田直樹
太田圭洋	加藤明彦	久木山厚子	久保和雄	隈 博政
黒田重臣	甲田 豊	小林真也	酒井 謙	佐藤壽伸
佐中 孜	宍戸寛治	鈴木都美雄	土谷晋一郎	戸澤修平
沼田 明	百武宏幸	前田憲志	村上秀一	山川智之
山下達博	依藤良一			

理事（新任）（2名）

菊地 勘 比嘉 啓

監事（新任）（1名）

篠田俊雄

3. その他

議長より、会員2名から書面にて意見・要望のあった事項について意見を求められ、秋澤忠男会長から次のとおり回答があった。

（要望）透析治療の特殊性に鑑み、透析患者を優先にワクチン接種ができるよう行政に要請していただきたい。

（回答）週2-3回通院している透析患者に対し、早期に接種したいという思いは私も含め会員の共通の願

いである。同じように高齢者入居施設の方も、抗がん剤治療に定期的に通院している方も同じ気持ちではないかと斟酌する。

透析患者への優先的なワクチン接種については、新型コロナウイルス感染対策合同委員会委員長から厚生労働省に意見を具申したが、厚生労働省の立場としては基礎疾患の中で透析患者だけを優先できないとの回答であった。

一方、ワクチン供給量や接種体制は全国一律ではないことから、透析患者への優先接種については、地域ごとに自治体と話し合っただけで対応するのが現時点では適切と考えている。

(要望) 毎週金曜日に公表している透析患者における新型コロナウイルス感染者の登録数について県別に出してもらいたい。

(回答) 新型コロナウイルス感染者の登録数の県別のデータについては、当会としては支部長（都道府県透析医会会長等）限りとして通知できないか、新型コロナウイルス感染対策合同委員会に検討を申し入れる。

議長は、以上をもって本日の通常総会のすべての議案が終了したと宣言し、14時40分閉会を宣言し解散した。

通常総会資料

※以下、通常総会資料を掲載する。

報告事項

令和2年度事業報告

I. 事業の状況

1. 役員会等に関する事項

(1) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年5月17日 通常総会	【報告事項】 ・令和元年度事業報告 【議案】 第1号議案：令和元年度財務諸表の承認を求める件 第2号議案：役員（監事）選任の件 第3号議案：定款の一部変更について承認を求める件 第4号議案：定款の一部変更に伴う関係規程の整備について承認を求める件 ・顧問に関する規程（案） ・名誉会員に関する規程（案）	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年4月17日 第1回通常理事会 (書面審議)	【審議事項】 1. 通常総会の開催について 2. 令和元年度事業報告及び決算について (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和元年度決算について (3) 監査報告について 【報告事項】 ・会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について	承認 承認
令和2年5月25日 第2回通常理事会 (書面審議)	【審議事項】 1. 日本透析医会研究助成取扱規程の一部改正について 2. 日本透析医会研究助成事業基金規程の一部改正について	承認 承認
令和3年2月26日 第3回通常理事会 (WEB会議)	【審議事項】 1. 令和2年度公募研究助成の決定について 2. 令和3年度事業計画及び収支予算について (1) 令和3年度事業計画（案） (2) 令和3年度収支予算（案） 3. 役員（理事及び監事）選任について 4. 利益相反に関する諸規程の一部改正について (1) 利益相反（COI）に関する指針（改正案） (2) 利益相反に関する指針の取扱規程（改正案） (3) 利益相反委員会規程（改正案） 5. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 6. 個人情報保護に関する諸規程の整備について (1) 個人情報の保護に関する基本方針（案） (2) 個人情報の保護に関する規程（案） (3) 日本透析医会が業務上保有する個人情報の利用目的（案） (4) 特定個人情報取扱規程（案）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 一部修正の上承認 承認 一部修正の上承認 承認 一部修正の上承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	【報告事項】 1. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況について (1) 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告 (今回報告分) (2) 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告 (令和2年4月17日書面報告) 2. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 3. 書面による通常理事会について (令和2年4月17日, 令和2年5月25日)	

(3) 常任理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和2年4月17日 第1回常任理事会 (WEB会議)	【審議事項】 1. 通常総会について 2. 理事会の決議の目的である事項の提案等について 3. 新型コロナウイルス感染対策について 4. 支部長会等について 5. 新規入会者について 【報告事項】 1. 監事監査報告について 2. 各支部開催の研修会, 講習会経費の一部補助について 3. 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)の申請について 4. 会員数について(3月31日現在)	承認 承認 承認 承認 承認
令和2年6月26日 第2回常任理事会	【審議事項】 1. 透析保険審査委員懇談会及び支部長会について 2. 令和2年度秋期研修セミナーについて 3. 令和2年度における寄付金の依頼について 4. 在宅血液透析管理マニュアルの改訂について 5. 新型コロナウイルス感染症対策への取組みについて 6. 医療機関等におけるクラスター発生時の看護職員の派遣に関する支援について 7. 透析医療の自主機能評価指標の公開について 8. 支部開催の研修会, 講演会等の経費補助について 9. 新規入会者について 【報告事項】 1. 令和2年度厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)について 2. 第24回透析医療費実態調査について 3. 令和2年度診療報酬改定について 4. 委員会報告について (1) 会誌編集委員会(6月5日開催) (2) 利益相反委員会(6月19日開催) 5. 令和2年度HIV医療講習会の実施について (公益財団法人エイズ予防財団) 6. 令和2年度薬価改定におけるバイフィル専用炭酸水素ナトリウム補充液1.39%の必要性に関する意見書のお礼ならびにご報告について (エイワイファーマ株式会社) 7. 会員数について(5月31日現在)	承認 承認 承認 承認 承認 報告 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	6. 委員会報告について (1) 研修委員会 (9月18日開催) (2) 会誌編集委員会 (10月9日開催) (3) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会 (10月20日開催) 7. 常任理事会の開催について (11月20日開催) 8. 会員数について (9月30日現在)	承認
令和2年11月20日 第6回常任理事会 (WEB会議)	【審議事項】 1. 令和3年度事業計画及び収支予算について ① 令和3年度事業計画 (案) ② 令和3年度収支予算 (案) 2. 利益相反 (COI) に関する諸規程の一部改正について ① 利益相反 (COI) に関する指針 (改正案) ② 利益相反に関する指針の取扱規程 (改正案) ③ 利益相反委員会規程 (改正案) 3. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 4. 新規入会者について 【報告事項】 1. 会費未納会員について 2. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 3. 令和2年度秋期研修セミナー (WEB開催) の開催状況について 4. 日本透析医会雑誌35巻3号掲載の通常総会及び春期研修セミナーの案内について 5. 常任理事会の開催について (12月18日開催) 6. 会員数について (10月31日現在)	継続審議 継続審議 承認 承認 承認 承認
令和2年12月18日 第7回常任理事会 (WEB会議)	【審議事項】 1. 令和3年度事業計画及び収支予算について ① 令和3年度事業計画 (案) ② 令和3年度収支予算 (案) 2. 利益相反 (COI) に関する諸規程の一部改正について ① 利益相反 (COI) に関する指針 (改正案) ② 利益相反に関する指針の取扱規程 (改正案) ③ 利益相反委員会規程 (改正案) 3. 個人情報の保護に関する諸規程の整備について ① 個人情報の保護に関する基本指針 (案) ② 個人情報の保護に関する規程 (案) ③ 日本透析医会が業務上保有する個人情報の利用目的 (案) ④ 特定個人情報取扱規程 (案) 4. 透析医療の自主機能評価指標の公開施設一覧のホームページ掲載について 【報告事項】 1. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 2. 令和3年度支部長会、透析保険審査委員懇談会及び災害時情報ネットワーク会議について 3. 診療報酬改定の動向について 4. 常任理事会及び研究助成審査委員会の開催について (1月22日開催) 5. 会員数について (11月30日現在)	承認 承認 承認 承認 承認 継続審議 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年1月22日 第8回常任理事会 (WEB会議)	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報の保護に関する諸規程について <ol style="list-style-type: none"> ① 個人情報の保護に関する基本指針(案) ② 個人情報の保護に関する規程(案) ③ 日本透析医会が業務上保有する個人情報の利用目的(案) ④ 特定個人情報取扱規程(案) 2. 役員(理事及び監事)の選任について 3. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について 4. 通常理事会の開催について(2月26日開催) 5. 新規入会者について 6. 令和3年度春期研修セミナーについて(5月16日開催) <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 2. 委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会(1月19日開催) 3. 事務局体制について 4. 会員数について(12月31日現在) 	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和3年2月26日 第9回常任理事会 (WEB会議)	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本日開催する通常理事会について 2. 透析領域感染症管理認定師(仮称)について 3. 常任理事会の開催について(3月26日開催) <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度仮決算について 2. 委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 研究助成審査委員会(1月22日開催) (2) 令和2年度厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)第2回研究班会議(1月28日開催) (3) 研修委員会(2月4日開催) (4) 会誌編集委員会(2月12日開催) 3. 会員数について(1月31日現在) 	承認 承認 承認
令和3年3月26日 第10回常任理事会 (WEB会議)	<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会(部会)の委員長等の選定について 2. 広告掲載に関する取扱要領について 3. 日本透析医会が発行する会誌等の転載等許諾に関する規程について 4. 日本透析医会公的研究費に関する諸規程について <ol style="list-style-type: none"> ① 公的研究費取扱規程(案) ② 公的研究費不正防止計画(案) ③ 公的研究費内部監査要領(案) ④ コンプライアンス規程(案) 5. ホームページに掲載する規程等について 6. 常任理事会及び通常理事会について(4月16日開催) 7. 通常総会について(5月16日開催) 8. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について(4月16日理事会報告用) 9. 支部長会等の開催日程について(WEB開催) 10. 新規入会者について 	継続審議 一部修正の上承認 一部修正の上承認 一部修正の上承認 承認 一部修正の上承認 継続審議 一部修正の上承認 一部修正の上承認 一部修正の上承認 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	【報告事項】 1. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 2. 厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）について ① 令和2年度研究年度終了報告書 ② 令和3年度研究課題の評価結果 3. 委員会報告 ・血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会 （3月16日開催） 4. 会員数について（2月28日現在）	

(4) 委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
・標準透析療法委員会 支部長会 令和2年10月3日 （WEB会議）	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 透析排水管理に関する諸問題について	報告 報告
・腎不全対策委員会 CKD 対策部会 血液透析患者実態調査検討 ワーキンググループ 平成2年6月17日 （WEB会議） 令和2年8月18日 （WEB会議） 令和2年10月20日 （WEB会議） 令和3年1月19日 （WEB会議） 令和3年3月16日 （WEB会議）	1. 透析医療施設における災害準備に関する調査について 2. 2021年度全国透析患者実態調査について 3. 既存データの分析について	継続審議 継続審議 継続審議
・医療保険委員会 透析保険審査委員懇談会 令和2年10月3日 （WEB会議）	1. 透析医療の診療報酬に関する主要検討事項について 2. 透析医療の診療報酬に関する要望事項について	質疑応答 資料配布
・会誌編集委員会 令和2年6月5日 （WEB会議） 令和2年10月9日 （WEB会議）	1. 35巻1号について 2. 35巻2号について（進捗状況） 3. 35巻3号について（企画・方針） 1. 35巻2号について 2. 35巻3号について（進捗状況） 3. 36巻1号について（企画・方針） 4. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 5. 日本透析医会雑誌執筆要領の一部改正について 6. 日本透析医会雑誌への広告掲載について 7. 年間予定について	報告 報告 承認 報告 報告 承認 承認 承認 承認 継続審議 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年2月12日 (WEB会議)	1. 35巻3号について 2. 36巻1号について(進捗状況) 3. 36巻2号について(企画・方針・投稿論文(症例報告)) 4. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 5. 日本透析医会雑誌執筆要領の一部改正について 6. 広告掲載に関する取扱要領について 7. 日本透析医会が発行する会誌等の転載等許諾に関する規程について	報告 報告 承認 承認 承認 承認 承認
・研修委員会 令和2年9月18日 (WEB会議) 令和3年2月4日 (WEB会議)	1. 2020年度秋期研修セミナー(WEB開催)について 2. 2021年度春期研修セミナー(東京開催)について 3. 次回の研修委員会の開催について 1. 2021年度春期研修セミナーについて 2. 2021年度秋期研修セミナーについて(10月3日京都開催) 3. 2020年度秋期研修セミナーの開催状況について 4. 次回の研修委員会の開催について	報告 承認 承認 承認 承認 報告 承認
・研究助成審査委員会 令和3年1月22日 (WEB会議)	1. 研究助成申請に係る書面審査結果報告について 2. 研究助成申請課題の採否について	報告 承認
・災害時透析医療対策委員会 令和2年6月24日 (メール会議)	1. 2019年度活動報告について 2. 2020年度活動計画について	報告 承認
・日本透析医会・日本透析医学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会 令和2年4月6日 (WEB会議)	1. 委員会設置の目的とこれまでのCOVID-19感染透析患者の報告について 2. 合同委員会への情報収集について 3. COVID-19調査報告様式について 4. 東京都透析医会でのCOVID-19発症者の情報収集と入院透析可能施設のアンケート調査について 5. 厚生労働省のCOVID-19感染透析患者への対応方針予定について 6. 維持透析施設での感染対策と軽症者を受け入れる際の問題点について	報告 承認 承認 報告 承認 報告
・利益相反委員会 令和2年6月19日	1. 利益相反(COI)に関する指針等について(一部改正) ① 利益相反(COI)に関する指針 ② 利益相反に関する指針の取扱規程 ③ 利益相反委員会規程 2. 厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)の研究者に係る利益相反について	承認 承認 承認 承認

2. 事業の実施状況

公1 透析医療及び腎不全対策に関する調査研究、普及、教育研修事業

1. 調査研究事業

(1) 標準透析療法委員会

① 支部長会

令和2年10月3日、WEB（Zoom）にて支部長会議を開催し、40名が出席し、新型コロナウイルス感染症対策及び透析排水管理に関する諸問題について、詳細な説明・報告及び関連事項の質疑応答を行った。

② 透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言

日本透析医学会において、「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」を令和2年4月17日に公表し、この提言作成委員会に当会から役員2名、及び外部査読委員に当会から1名の役員を推薦した。

(2) 腎不全対策委員会

1) CKD（慢性腎臓病）対策部会

① 厚生労働省が定めた令和2年度臓器移植普及推進月間について、主催の一団体として参画し、臓器移植推進国民大会を後援した。

② （公社）日本臓器移植ネットワーク運営事業に参画し、腎移植の普及推進に協力した。

③ 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループにおいて、平成28年度（2016年度）血液透析患者実態調査結果のデータを分析し、次回令和3年度（2021年度）調査に向けて調査項目及び調査計画等について検討した。

また、血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会において、透析医療施設における災害の備えに関する問題点を探るため、「透析医療施設における災害への備えに関する調査」を実施した。その調査結果「透析医療施設における災害対策の実行度」については、日本透析医学会誌（Vol.35-No.2）に掲載した。

2) 在宅血液透析部会

在宅血液透析管理マニュアル改訂に向けたワーキンググループにおいて、「在宅血液透析管理マニュアル」（平成22年2月発刊）の改訂版を令和2年8月31日に発行した。また、この概要については、日本透析医学会誌（Vol.36-No.1）に掲載する予定である。

(3) 医療経済委員会

1) 制度調査部会

令和2年6月、第24回透析医療費実態調査を実施した。161施設の協力を得て、6月分の外来透析診療のレセプト情報をWebシステムにより集計及び分析した。

有効レセプト数は、全例12,082件（病院5,443件、診療所6,639件）であった。調査結果は、日本透析医学会誌（Vol.35-No.3）に掲載した。

2) 経営検討部会

透析排水管理に関する諸問題については、平成30年7月に東京都下水道局より指摘を受けて、これまで会告や勧告を発出してきた。また、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本透析医学会の3団体の委員（当会：専務理事）で構成する「透析排水管理ワーキンググループ」において、透析排水に関する関係法規を遵守し適正な排水管理を実施することを目的とした「2019年版透析排水基準」（令和元年10月30日）を策定し、関係者に周知してきたところである。

それ以降、当問題については、東京都下水道局と協議しつつ、東京都23区内における対応策をまとめ、

その概要を令和2年10月3日に開催した支部会において説明した。この内容については、「透析排水管理に必要な除害施設の導入：東京都23区内を例として」として令和3年3月1日ホームページに掲載し関係者に周知した。また、日本透析医会雑誌（Vol.36-No.1）に掲載する予定である。

(4) 医療保険委員会

令和2年10月3日、WEB（Zoom）にて第25回透析保険審査委員懇談会を開催し、全国の保険審査委員100名が参加した。当日は、事前に実施したアンケート（検討事項、要望事項等）に基づき、基本診療料、医学管理、検査・画像、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。その詳細な報告については、日本透析医会雑誌（Vol.36-No.1）に掲載する予定である。

(5) 介護保険委員会

「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」（平成30年実施）をもとに、要介護問題を含め高齢者腎不全患者の抱える問題を明らかにし、高齢腎不全患者が幸せな生活が送れるよう医療・介護体制の構築に向けて検討を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で次年度において検討することとしている。

(6) 透析医療の中長期的な在り方検討委員会

① 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ

「透析医療における職種別業務分担に関する調査報告」（平成24年調査実施、日本透析医会雑誌 Vol.27-No.1にて報告）をもとに、今後の透析医療の提供体制における看護師及び臨床工学技士の担うべき役割等について医師のタスクシフティングの観点からの検討を行い、透析医療に関する職種別業務分担（診療補助行為）について検討を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で次年度において検討することとしている。

② 透析医療の自主機能評価指標に関する検討ワーキンググループ

透析医療の自主機能評価指標（平成26年3月）の項目等の見直しを行い、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会との連携のもとに、令和2年7月に透析医療施設に対して同指標の公開について理解・協力を求めた。

なお、公開施設一覧については、当会ホームページに掲載した。

2. 普及事業

(1) 会誌編集委員会

① 機関誌の発刊

「日本透析医会雑誌」Vol.35-No.1（4月）、Vol.35-No.2（8月）、Vol.35-No.3（12月）の3巻を発行した。

② 機関誌の充実

- ・透析医療にかかわる経済的問題・制度及び医療安全・災害・感染症（特に新型コロナウイルス感染症）等への対策を重要課題とし、また透析医療に関する最新・話題の学術論文、各種実態調査報告等をタイムリーに提供するため、企画・検討し、機関誌に掲載した。
- ・各都道府県透析医会（支部）における透析患者の新型コロナウイルス感染症対策について情報共有を図るため、各都道府県におけるこれまでの対応、課題および今後の対応等について報告をいただき掲載した（Vol.35-No.3）。
- ・透析患者の新型コロナウイルス感染症の症例報告を募集し、3例の論文を掲載した。これに伴い症

例報告の投稿規程を追加した。

- ・病理組織、災害状況などの図表のカラー化を進めるなど、機関誌の充実を図った。

③ 研修セミナー等の各種情報を機関誌に掲載した。

3. 教育研修事業

(1) 研修委員会

1) 研修セミナー

① 令和2年度研修セミナーの開催状況

ア. 春期（東京開催）

令和2年5月17日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ中止とした。

イ. 秋期（高松開催）

令和2年10月4日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、WEB（動画配信）で開催した。

- ・主 題：透析医療は・・・此处まで来て・・・何を抱えて・・・何を目指すのか
- ・配信期間：令和2年10月15日（木）～11月6日（金）
- ・聴講者数：6演題で述べ1,698名（1演題当たり283名）

② 令和3年度研修セミナーの開催予定

ア. 春期（東京開催）

令和3年5月16日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、WEB（動画配信）で開催することとした。

- ・主 題：我が国の透析医療を巡る・・・今
- ・配信期間：令和3年4月28日（水）～5月31日（月）

イ. 秋期（京都開催）

- ・主 題：腎不全・透析医療が日常的に遭遇する諸課題
- ・開催日：令和3年10月3日（日）
- ・会 場：京都ブライトンホテル

2) 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会への経費補助

支部（都道府県透析医会）が開催した以下の研修会・講演会（2支部・2件）に対し、経費の助成を行った。

- ・神奈川県透析医会 「第4回神奈川県透析医会総会・学術講演会」
- ・静岡県透析医会 「第56回静岡県腎不全研究会」

公2 透析医療及び腎不全対策に関する研究助成事業

1. 研究助成事業

(1) 研究助成審査委員会

公募研究助成の申請のあった22件について、研究助成審査委員会において厳正なる審査を行い、理事会の承認を経て以下のとおり決定した（12件・総額17,130,000円）。

- ・慢性腎臓病に伴う認知機能障害の病態解明と治療基盤の構築 1,500,000円
（日本大学薬学部 薬理学研究室 小菅 康弘）

- 慢性腎臓病のビッグデータに人工知能を活用した治療シミュレーションシステムの開発 1,000,000 円
(川崎医科大学医学部 神田 英一郎)
- 透析患者の流行性ウイルス感染重症化予防を目指す運動療法の効果検討 930,000 円
(筑波大学医学医療系 腎臓内科学 永井 恵)
- 維持透析患者における整形外科手術時の死亡リスク要因の探索 1,050,000 円
(東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座 岡田 啓)
- 腹膜透析における MAPK ファミリーの役割の解明 1,500,000 円
(京都大学 腎臓内科 横井 秀基)
- 微小変化型ネフローゼ症候群の病態解明と治療法開発 1,700,000 円
(東京大学医学部附属病院 血液浄化療法部 浦江 聖也)
- 腎不全看護師における腎代替療法選択支援の実態と、腎移植看護に対する知識ニーズに関する全国調査 650,000 円
(東京工科大学医療保健学部 看護学科 小坂 志保)
- 正コレステロール血症を呈する閉塞性動脈硬化症に対する LDL 吸着療法の検討と受容体結合蛋白に着目したメカニズムの解明 1,700,000 円
(横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学 涌井 広道)
- ヒストンメチル化修飾への介入による血管石灰化抑制 2,150,000 円
(慶應義塾大学医学部 血液浄化・透析センター 吉田 理)
- 透析中運動療法が局所脳酸素飽和度と認知機能へ与える効果の解明 1,300,000 円
(嬉泉病院リハビリテーション科 小島 将)
- 鉄欠乏合併 CKD における HIF-PHI の FGF23 と心筋リモデリングへの影響 2,000,000 円
(昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 齋藤 友広)
- 北海道内の透析患者を対象とした新型コロナウイルス感染症サーベイランスと予防のための ICT を用いた健康観察システム 1,650,000 円
(札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座/循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 小山 雅之)

公3 透析医療及び腎不全対策に関する安全対策事業

1. 災害対策事業

(1) 災害時透析医療対策委員会

① 第21回災害時情報ネットワーク会議

第21回災害時情報ネットワーク会議については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。なお、令和2年6月24日にメールにて災害時透析医療対策委員会が開催され、2019年度活動報告及び2020年度活動計画が承認された。

② 第21回災害時情報伝達訓練

令和2年9月1日、地域における情報伝達網を活用して、地域情報伝達用ホームページ又は本部ホームページに施設情報の登録を依頼し、46都道府県で計2,282施設が参加した。

③ 災害時の対応

〈災害時情報活動〉

以下の大規模災害（地震：震度6弱*以上、風水害、火山活動等）に対応して、災害時情報メーリングリスト（Joho_mail）を活用して災害時情報活動を行った。

• 令和2年 7月 4日 令和2年（2020年）7月豪雨（西日本）

7月28日 台風4号から変わった温帯低気圧による北海道・東北の日本海側を中心と

する大雨

- 9月 1日 台風9号の沖縄県接近による大雨（九州）
- 9月 3日 台風10号による暴風・大雨（九州）
- 9月22日 台風12号や前線の影響による大雨（西日本）
- 10月 9日 台風14号や前線の影響による大雨（西日本）
- 12月17日 日本海側を中心とした大雪
- 12月30日 北日本から西日本の日本海側を中心とした大雪
- ・令和3年 1月 7日 北日本・東日本から西日本の日本海側を中心とした暴風雨と大雪
- 2月13日 福島県沖を震源とする地震

※地震発生時の情報収集開始震度の変更：震度5強→震度6弱

〔第19回災害時情報ネットワーク会議（平成30年6月29日）にて決定〕

- ④ 災害時情報ネットワークの保守・管理（システム及びメーリングリスト）
- ⑤ JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）への参画，協力

(2) 令和2年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）について

山川智之常務理事が、研究代表者として令和2年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）における研究課題「慢性腎臓病患者（透析患者等を含む）に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究」に取り組んだ。

2. 医療安全対策事業

(1) 医療安全対策委員会

1) 医療事故対策部会

透析医療事故に関する全国調査を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ次年度に延期した。

2) 感染防止対策部会

① 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」の改訂について

透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン改訂に向けたワーキンググループにおいて、「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」（2015年3月発刊）を改訂し、令和2年4月30日に五訂版を発刊した。

② 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への対応について

新型コロナウイルス感染対策については、令和2年2月28日に「新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ」を設置し、また令和2年5月12日には日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会が設置され、透析施設における感染対策にあたっているところである。

これらの取組状況については、次表のとおりである。

新型コロナウイルス感染症への取組状況

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
2020年		
2月 4日	新型コロナウイルス関連肺炎に対する透析施設での対応について（第1報）（HP）	
18日	新型コロナウイルス感染症への対応について（会告）（HP）	
26日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第2報）（HP）	
28日	日本透析医会 感染防止対策部会の下に「新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ」（委員長：菊地勘先生）を設置	
3月 3日		透析患者に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が疑われた場合、確定した場合の対応（会告）（日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会）（HP） 透析患者に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が疑われた場合、確定した場合の対応（上記3団体から厚生労働省健康局がん・疾病対策課長への要望）
4日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第3報）（HP） ～COVID-19の感染拡大期からまん延期における透析施設での具体的な感染対策～	
6日	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）のPCR検査について（会告）（HP）	
12日	新型コロナウイルス（COVID-19）肺炎を発症した血液透析患者の経過についての症例報告（HP）	
16日	緊急全国WEBセミナーの開催 「新型コロナウイルス感染（COVID-19）の現況と透析施設での感染対策～感染拡大期からまん延期に備えて～」（講師：菊地勘先生）	
25日	透析施設での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染対策徹底のお願い（HP）	
27日	3月26日の厚生労働省がん・疾病対策課からの照会に対する日本透析医会からの回答及び要望書の提出	「日本透析医会・日本透析医学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会」の設置（委員長：菊地勘先生）
4月 1日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報）（HP）	
2日	透析施設での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染対策徹底のお願い（No.2）（HP） 【症例報告1】 「透析患者における新型コロナウイルス（COVID-19）感染例と当院での対応」（HP）	
3日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4報改訂版）（HP）	
6日	新型コロナウイルス感染症の軽症者等に係る宿泊療養及び自宅療養の対象並びに自治体における対応に向けた準備についての要約（HP）	日本透析医会・日本透析医学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会の開催（WEB）
8日		透析施設における COVID-19 感染症例報告について（お願い）（HP・メール：支部長，会員，透析施設管理医師）
10日	帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛のお願いと透析施設における注意点（HP）	透析患者における新型コロナウイルス感染者数（2020年4月10日時点）（HP）
15日	新型コロナウイルス感染症に対応したがん患者・透析患者・障害児者・妊産婦・小児に係る医療提供体制について（HP）	

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
17日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年4月17日時点) (HP)
24日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年4月24日時点) (HP)
27日		「新型コロナウイルス感染症に対する都道府県と都道府県支部との連携状況に関するアンケート」へのご協力 のお願い(支部長あてメール)
28日		日本透析医学会・日本透析医会声明文 (HP) 新型コロナウイルス感染症に対するフェビピラビル(アビガン)に係る観察研究の概要及び同研究に使用する ための医薬品の提供に関する周知依頼について (HP)
5月 1日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年5月1日時点) (HP)
8日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年5月8日時点) (HP)
11日		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査 に関する要望(厚生労働大臣あて) (日本透析医学会・日本透析医会・日本腎臓学会)
12日		「日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型 コロナウイルス感染対策合同委員会」の設置 (委員長:菊地勘先生)
14日	新型コロナウイルス抗原検出用キットの医薬品医療機 器等法の承認について (HP)	
15日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年5月15日時点) (HP)
18日	新型コロナウイルス感染症に関する症例報告について (募集) (HP) 【症例報告2】 「透析導入後に維持透析目的にて転入され、SARS-CoV-2 陽性となった透析患者の1例～感染管理の視点から～」 (HP)	
22日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年5月22日時点) (HP)
29日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年5月29日時点) (HP) 新型コロナウイルス感染対策合同委員会と日本臨床工 学技士会との共同調査～透析医療機器および個人防護 具に関する現況調査依頼～(お願い) (HP)
6月 2日	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及 び就業制限の取扱いについて(一部改正) (HP)	透析患者における新型コロナウイルス感染症(COVID- 19)のPCR検査について (HP)
5日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年6月5日時点) (HP)
7日		【TAD掲載】 「COVID-19 of dialysis patients in Japan: current status and guidance on preventive measures」 (著者:菊地勘先生 他)
12日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年6月12日時点) (HP)
15日	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及 び就業制限の取扱いについて(一部改正) (HP)	
19日	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療 分)の実施について(支部長あてメール)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年6月19日時点) (HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
22日	今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について (HP)	
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年6月26日時点) (HP)
7月 2日	【症例報告3】 「人工呼吸管理を要した COVID-19 が改善した透析導入患者の一例」 (HP)	
3日	【論文紹介1】 「2003年に流行した SARS-CoV-1 と新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の感染持続能力の評価」 (HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月3日時点) (HP)
7日		新型コロナウイルス感染対策合同委員会と日本臨床工学技士会、日本災害時透析医療協働支援チームとの共同調査「透析医療機器および個人防護具に関する現況調査」の結果報告 (HP)
9日	COVID-19 の第2波に備えた透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP)	
	【論文紹介2】 「鼻咽腔検体と唾液検体での PCR ウイルス量の比較」 (HP)	
10日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月10日時点) (HP)
17日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月17日時点) (HP)
20日	【論文紹介3】 「SARS-CoV-2 感染に対する偽陰性検査結果—その難しさと意味するもの」 (HP)	
24日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月24日時点) (HP)
31日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年7月31日時点) (HP)
		COVID-19 新規感染者数増加に伴う透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP)
8月 4日	【論文紹介4】 「COVID-19 透析患者の症状および転帰」 (HP)	
7日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月7日時点) (HP)
11日	【論文紹介5】 「COVID-19 入院患者に対するデキサメタゾンの効果」 (HP)	
14日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月14日時点) (HP)
		COVID-19 新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について (お願い) (HP)
18日	【論文紹介6】 「SARS-CoV-2 に感染した血液透析患者の臨床的特徴と短期予後～Brescia Renal COVID Task Force からの報告～」 (HP)	
21日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月21日時点) (HP)
25日	【論文紹介7】 「血清抗体検査での血液透析患者における無症候性 COVID-19 感染の割合」 (HP)	
28日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年8月28日時点) (HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
9月 1日	【論文紹介 8】 「COVID-19 の診断と予後における予測モデル」(HP)	
4日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月4日時点)(HP)
8日	【論文紹介 9】 「武漢における血液透析患者の臨床像と医学的介入」 (HP)	
11日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月11日時点)(HP)
15日	【論文紹介 10】 「都市における血液透析施設での COVID-19 のアウト ブレイク」(HP)	
18日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月18日時点)(HP)
23日	【論文紹介 11】 「COVID-19 腹膜透析患者の腹膜透析排液」(HP)	
25日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年9月25日時点)(HP)
29日	【論文紹介 12】 「SARS-CoV-2 に対する mRNA ワクチンのフェーズ 1 試験」(HP)	
10月 2日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月2日時点)(HP)
6日	【論文紹介 13】 「COVID-19 のウイルス放出と伝染性がいつから始ま るのか？」(HP)	
8日	新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応 について(第5報)(HP)	
9日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月9日時点)(HP)
13日	【論文紹介 14】 「唾液検体と鼻咽頭検体による SARS-CoV-2 の定量 測定」(HP)	
16日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月16日時点)(HP)
20日	【論文紹介 15】 「透析ユニットでの COVID-19 をコントロールするた めの鍵」(HP)	
23日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月23日時点)(HP)
27日	【論文紹介 16】 「COVID-19 成人患者へのレムデシビル治療：リビン グシステムティックレビュー」(HP)	
30日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年10月30日時点)(HP)
11月 3日	【論文紹介 17】 「欧米の腎不全患者における COVID-19 の発生率と致 死率について」(HP)	
6日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数 (2020年11月6日時点)(HP)
10日	【論文紹介 18】 「COVID-19 の感染を防ぐための物理的距離、フェイ スマスク、およびアイガードの効果」(HP)	

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
13日	COVID-19の第3波に備えた透析施設での感染対策の徹底について(お願い)(HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年11月13日時点)(HP)
17日	【論文紹介19】 「高齢者におけるBCGワクチンの感染症に対するランダム化試験」(HP)	
19日		COVID-19新規感染者数急増に伴う透析施設での感染対策の徹底について(お願い)(HP)
20日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年11月20日時点)(HP)
24日	【論文紹介20】 「米国におけるCOVID-19重症患者の死亡に関連する因子」(HP) 日本医学連合会COVID-19 expert opinionの公開について(HP)	
27日		COVID-19透析患者の急増に伴う透析施設での患者教育および対策の徹底について(お願い)(HP) 透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年11月27日時点)(HP)
28日		太田圭洋先生が合同委員会委員に就任
12月1日	【論文紹介21】 「SARS-CoV-2感染入院患者における血清25(OH)D濃度」(HP)	
4日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年12月4日時点)(HP)
8日	【論文紹介22】 「ベルギーの血液透析施設におけるSARS-CoV-2感染者の3か月間にわたる血清学的抗体価の推移」(HP)	
11日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年12月11日時点)(HP)
15日	【論文紹介23】 「COVID-19における急性腎障害の有病率と影響」(HP)	
18日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年12月18日時点)(HP) COVID-19透析患者の新規感染者数急増に対する対策へのご協力のお願(HP)
22日	【論文紹介24】 「集中治療室に入室するCOVID-19の転帰と既存の腎疾患の関係について」(HP)	
25日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(2020年12月25日時点)(HP)
28日	東京区部災害時透析医療ネットワークWeb区民公開講座「透析患者様における新型コロナウイルス感染の現状と対策」(HP)	
2021年 1月8日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年1月7日時点)(HP) COVID-19透析患者の新規感染者数急増に対する対策へのご協力について(お願い)
12日	【論文紹介25】 「米国の透析患者の血清を用いてSARS-CoV-2に対する抗体陽性率を調査し、患者属性ごとの特徴を調べた横断研究」(HP)	
15日	新型コロナウイルス感染症の透析患者に対する医療提供体制の整備について(お願い)(HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年1月14日時点)(HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
18日	感染症対策 e-ラーニング動画 「透析施設における感染症対策—飛沫感染・接触感染の予防—」(HP)	
19日	【論文紹介 26】 「COVID-19 を対象とした感染予防は透析用中心静脈カテーテル関連感染症の劇的な減少と関連がある」(HP)	
20日	【症例報告 4】 「COVID-19 に罹患した未入院中の外来通院血液透析患者に緊急避難的に Oseltamivir (オセルタミビル) にて治療を試みた 1 例」(HP)	新型コロナウイルス感染症透析患者の透析医療の確保についての提言 (HP)
22日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 1 月 21 日時点) (HP)
26日	【論文紹介 27】 「米国透析患者における COVID-19 の危険因子と予後」(HP)	
29日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 1 月 28 日時点) (HP)
2月 2日	【論文紹介 28】 「腹膜透析患者のケースシリーズ研究」(HP)	
5日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 2 月 4 日時点) (HP)
9日	【論文紹介 29】 「COVID-19 と季節性インフルエンザの比較背景 情報・罹患率・致死率—国民データベースによる後ろ向きコホート研究—」(HP)	
12日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 2 月 11 日時点) (HP)
16日	【論文紹介 30】 「COVID-19 に対する実験的治療：非盲検対照研究」(HP)	
19日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 2 月 18 日時点) (HP)
22日		クラスターの発生防止のための感染対策徹底のお願い (HP)
24日	【論文紹介 31】 「COVID-19 入院患者における RAS 阻害薬の中止と継続の効果の比較」(HP)	
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 2 月 25 日時点) (HP)
3月 2日	【論文紹介 32】 「ファイザー社のメッセンジャー RNA ワクチンの効果と副反応を報告した論文」(HP) 透析施設における新型コロナウイルス感染症例報告について (支部長あてメール)	
5日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 3 月 4 日時点) (HP)
9日	【論文紹介 33】 「Covid-19 患者に対するトシリズマブの効果～2つの臨床試験の結果から～」(HP)	
12日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 3 月 11 日時点) (HP)
16日	透析施設における新型コロナウイルス感染症の症例報告様式の一部変更について (支部長あてメール)	

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
16日	【論文紹介 34】 「退院した患者における Covid-19 発症 6 ヶ月後の健康への影響：コホート研究」(HP)	透析施設における新型コロナウイルス感染症の症例報告様式の一部変更について (HP)
19日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021年3月18日時点) (HP)
23日	【論文紹介 35】 「BNT162b2 mRNA COVID-19 ワクチン効果の国家規模での調査」(HP)	
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021年3月25日時点) (HP)
30日	【論文紹介 36】 「ICU に入室した重症 COVID-19 患者における静脈血栓塞栓症と大出血, 早期の抗凝固療法の効果についての大規模観察研究」(HP)	

その他の事業

情報管理委員会

- ホームページの運用・管理を行い, 次の情報をホームページに掲載し情報発信した。
なお, 新型コロナウイルス感染症関連の掲載については, 前項感染防止対策部会の「(表) 新型コロナウイルス感染症への取組状況」による。

(令和2年)

- 4月1日 春期研修セミナー「透析医療における Current Topics 2020」中止のお知らせ
- 4月27日 通常総会について (ご案内)
- 5月1日 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン (五訂版)
 - ♪ 日本透析医会雑誌 Vol.35-No.1
 - ♪ 研修セミナー講演録 (令和元年度秋期研修セミナー (熊本開催))
- 5月21日 令和元年度事業報告・財務諸表, 役員名簿, 定款, 委員会 (部会) 名簿
- 5月29日 令和2年度日本透析医会公募研究助成金の申請について (案内)
- 7月1日 透析医療の自主機能評価指標の公開について (お願い)
- 8月28日 日本透析医会雑誌 Vol.35-No.2
 - ♪ 在宅血液透析管理マニュアル (改訂版)
- 8月31日 秋期研修セミナー (WEB 開催) について (ご案内)
- 9月28日 秋期研修セミナー (WEB 開催) 抄録集の掲載について
- 10月15日 秋期研修セミナー (WEB 開催) の動画配信 (10月15日~11月6日)
- 10月28日 厚生労働科学特別研究事業「腎臓病・透析患者における COVID-19 対策の全国調査および易感染性・重症化因子の後方視的解析」について (お知らせ)
- 11月9日 秋期研修セミナー (WEB 開催) 配信期間終了について
 - ♪ 秋期研修セミナー (WEB 開催) DVD の貸出について
 - ♪ 厚生労働科学研究費補助金 (腎疾患政策研究事業)「災害時情報ネットワークに関するアンケート調査について (お願い)」
- 12月1日 透析医療の自主機能評価指標の公開施設一覧 (2020年12月1日現在)
- 12月25日 日本透析医会雑誌 Vol.35-No.3

(令和3年)

- 2月5日 透析医療の自主機能評価指標の公開施設一覧(2021年2月1日現在)
- 2月24日 COVID-19蔓延下での診療体制についての全国調査アンケート結果
- 3月1日 透析排水管理に必要な除害施設の導入:東京都23区を例として
 - 〃 春期研修セミナー(WEB開催)について(ご案内)
- 3月18日 日本透析協会の「透析施設ナビ開設のご案内と会員登録のお願い」の文書について
- 3月26日 令和2年度公募研究助成の決定について
 - 〃 令和3年度事業計画・収支予算について

3. 会務報告

(令和2年)

- 4月10日 令和元年度にかかる事業及び計算書類等の監事監査
- 5月12日 後援:(公社)日本臨床工学技士会「2020年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
- ~6月10日
- 5月17日 後援:(一社)全国腎臓病協議会「2020年度全腎協全国大会 in こおりやま」
- 5月23日 後援:(公社)日本臨床工学技士会「第30回日本臨床工学会(名古屋市)」
- ~24日
- 6月5日 東京法務局あて申請:変更登記申請書(定款の一部変更に伴う目的等の変更,監事の変更)
- 6月23日 内閣総理大臣(内閣府)あて報告:変更届出書(定款の一部変更,監事の変更)
 - 〃 内閣総理大臣(内閣府)あて提出:令和元年度事業報告等
- 6月24日 「第24回透析医療費実態調査」実施(221施設あて依頼)
- 8月26日 監事監査
- 9月25日 東京法務局あて申請:変更登記申請書(理事の変更)
- 10月1日 共催:厚生労働省「令和2年度臓器移植普及推進月間」
- ~31日
- 10月30日 監事監査
- 12月15日 後援:(公社)日本臨床工学技士会「2020年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
- ~1月13日

(令和3年)

- 1月22日 監事監査
- 1月24日 後援:NPO法人東京腎臓病協議会「第32回腎臓病を考える都民のつどい」
- 3月2日 後援:(公社)日本臨床工学技士会「2020年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
- ~31日
- 3月26日 内閣総理大臣あて(内閣府)提出:令和3年度事業計画・収支予算

II. 法人の概況

1. 役員に関する事項

(1) 理事

令和3年3月31日現在

役職名	氏名	現職
会長	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
副会長	隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
〃	篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授・学科長
専務理事	宍戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
常務理事	太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
〃	甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
〃	土谷晋一郎	特定医療法人あかね会 会長（土谷総合病院）
〃	戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
〃	山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
理事	東 仲宣	特定医療法人財団松圓会 理事長（東葛クリニック病院）
〃	安藤 亮一	医療法人社団清湘会 清湘会東砂病院 副院長
〃	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科 診療教授
〃	今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
〃	加藤 明彦	浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 病院教授
〃	亀川 隆久	独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 名誉院長
〃	久木山厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
〃	久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 顧問
〃	黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
〃	小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
〃	酒井 謙	東邦大学腎臓学講座 教授
〃	佐藤 壽伸	独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 副院長
〃	佐中 孜	医療法人社団韮生会 メディカルプラザ市川駅 院長
〃	鈴木都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
〃	沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 副理事長・名誉院長
〃	百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
〃	前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
〃	村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
〃	山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）
〃	依藤 良一	医療法人社団仁成会 仁成クリニック

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：令和元年5月19日から令和3年度通常総会の終結の時まで

(2) 監事

令和3年3月31日現在

監事	岩崎 文昭 ^{**2}	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
〃	杉崎 弘章 ^{**1}	医療法人社団心施会 会長（府中腎クリニック）
〃	渡邊 有三 ^{**2}	春日井市民病院 統括顧問

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：※1 令和元年5月19日から令和3年度通常総会の終結の時まで
 ※2 令和2年5月17日から令和4年度通常総会の終結の時まで

2. 会員に関する事項

会員区分*		令和元年度 (令和2年3月31日現在)	令和2年度 (令和3年3月31日現在)	増減
A会員	(1)	443名	443名	0名
	(2)	161名	157名	-4名
	(3)	87名	84名	-3名
	(4)	54名	53名	-1名
B会員	(1)	156名	153名	-3名
	(2)	195名	203名	8名
合計		1,096名	1,093名	-3名

※会員区分について

A会員：私的医療機関の管理者・透析部門責任者

(所属施設の透析機台数に応じ(1)～(4)に区分)

(1) 30台以上 (2) 20～29台 (3) 10～19台 (4) 0台～9台

B会員：公的医療機関の管理者・透析部門責任者及び勤務医

(1) 公的医療機関の管理者・透析部門責任者

(2) 勤務医

令和2年度事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

第1号議案

令和2年度財務諸表

1. 貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	46,118	13,103	33,015
定期預金	700	0	700
普通預金	22,019,111	13,821,824	8,197,287
振替口座	6,362,014	454,650	5,907,364
流動資産合計	28,427,943	14,289,577	14,138,366
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,977,340	6,464,610	512,730
創立40周年記念事業積立資産	9,000,000	7,000,000	2,000,000
特定資産合計	15,977,340	13,464,610	2,512,730
(3) その他固定資産			
電話加入権	4	4	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	6,350,004	6,350,004	0
固定資産合計	224,332,233	221,819,503	2,512,730
資産合計	252,760,176	236,109,080	16,651,096
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	562,637	411,459	151,178
未払金	7,780,000	9,450,000	△1,670,000
流動負債合計	8,342,637	9,861,459	△1,518,822
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,977,340	6,464,610	512,730
固定負債合計	6,977,340	6,464,610	512,730
負債合計	15,319,977	16,326,069	△1,006,092
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	237,440,199	219,783,011	17,657,188
正味財産合計	237,440,199	219,783,011	17,657,188
負債及び正味財産合計	252,760,176	236,109,080	16,651,096

2. 正味財産増減計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益			
研究助成事業基金受取利息	20,255	20,200	55
② 創立40周年記念事業資産運用益			
創立40周年記念事業受取利息	700	—	700
③ 受取入会金			
受取入会金	90,000	240,000	△ 150,000
④ 受取会費			
受取会費	88,560,000	88,490,000	70,000
⑤ 受取寄付金			
受取寄付金	13,091,252	12,700,000	391,252
⑥ 事業収益			
研修セミナー共催金	0	300,000	△ 300,000
研修セミナー参加費	0	910,000	△ 910,000
⑦ 雑収益			
受取利息	445	2,029	△ 1,584
雑収入	2,692,813	2,000,000	692,813
経常収益計	104,455,465	104,662,229	△ 206,764
(2) 経常費用			
事業費			
調査研究、普及、教育研修事業	40,250,172	52,306,558	△ 12,056,386
給与手当	8,050,859	7,551,276	499,583
法定福利費	1,196,096	1,180,635	15,461
退職金	0	136,535	△ 136,535
人材派遣費	215,424	—	215,424
退職給付費用	205,092	391,312	△ 186,220
福利厚生費	40,365	43,728	△ 3,363
会議費	8,000	1,284,755	△ 1,276,755
旅費交通費	458,180	6,195,780	△ 5,737,600
通信運搬費	1,673,760	1,386,613	287,147
事務消耗品費	959,404	984,006	△ 24,602
印刷製本費	16,714,588	11,400,348	5,314,240
水道光熱費	80,883	83,381	△ 2,498
家賃	1,685,640	1,796,483	△ 110,843
原稿料	1,897,500	1,140,000	757,500
講演料	668,220	1,169,385	△ 501,165
諸会費	17,964	20,848	△ 2,884
警備等委託費	355,765	361,979	△ 6,214
ホームページ管理費	411,180	380,032	31,148
透析医療費実態調査費	2,807,292	1,911,600	895,692
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	100,000	0
調査研究費	0	2,205,895	△ 2,205,895
研修セミナー開催費	2,346,050	10,578,254	△ 8,232,204
研修会等助成費	200,000	1,800,000	△ 1,600,000
雑費	157,910	203,713	△ 45,803

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
研究助成事業	24,258,861	23,672,451	586,410
給与手当	4,025,428	3,775,638	249,790
法定福利費	598,048	590,318	7,730
退職金	0	68,266	△ 68,266
人材派遣費	107,712	—	107,712
退職給付費用	102,546	195,658	△ 93,112
福利厚生費	20,184	21,866	△ 1,682
会議費	0	42,516	△ 42,516
旅費交通費	50,000	93,920	△ 43,920
通信運搬費	115,412	93,828	21,584
事務消耗品費	479,702	492,002	△ 12,300
印刷製本費	34,816	58,822	△ 24,006
水道光熱費	40,442	41,690	△ 1,248
家賃	842,820	898,240	△ 55,420
謝金	256,151	278,425	△ 22,274
諸会費	8,982	10,424	△ 1,442
警備等委託費	177,884	184,490	△ 6,606
ホームページ管理費	205,590	190,016	15,574
研究助成費	17,130,000	16,550,000	580,000
雑費	63,144	86,332	△ 23,188
安全対策事業	8,183,442	9,776,472	△ 1,593,030
給与手当	2,012,714	1,887,819	124,895
法定福利費	299,024	295,159	3,865
退職金	0	34,133	△ 34,133
人材派遣費	53,856	—	53,856
退職給付費用	51,273	97,829	△ 46,556
福利厚生費	10,092	10,933	△ 841
会議費	0	978,232	△ 978,232
旅費交通費	25,000	958,220	△ 933,220
通信運搬費	86,820	98,226	△ 11,406
事務消耗品費	239,851	246,001	△ 6,150
印刷製本費	736,148	29,411	706,737
水道光熱費	20,221	20,845	△ 624
家賃	421,410	449,120	△ 27,710
諸会費	4,491	5,212	△ 721
警備等委託費	88,942	92,245	△ 3,303
講演会費	0	1,198,890	△ 1,198,890
講演料	0	111,370	△ 111,370
原稿料	198,744	—	198,744
ホームページ管理費	758,945	166,508	592,437
システム管理費	2,479,339	2,349,893	129,446
災害発生時対応諸経費	665,000	666,000	△ 1,000
雑費	31,572	80,426	△ 48,854
事業費計	72,692,475	85,755,481	△ 13,063,006
管理費			
給与手当	6,038,143	5,663,457	374,686
法定福利費	897,072	885,476	11,596
退職金	0	102,400	△ 102,400
人材派遣費	161,568	—	161,568
退職給付費用	153,819	293,486	△ 139,667

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
福利厚生費	30,275	32,798	△ 2,523
会議費	73,020	738,568	△ 665,548
常任理事会費	1,003,931	3,940,213	△ 2,936,282
理事会費	258,300	2,096,767	△ 1,838,467
総会費	1,290,538	931,578	358,960
謝金	100,233	—	100,233
旅費交通費	36,520	578,060	△ 541,540
通信運搬費	173,117	140,741	32,376
事務消耗品費	719,553	738,004	△ 18,451
印刷製本費	52,223	88,233	△ 36,010
水道光熱費	60,662	62,536	△ 1,874
家賃	1,264,230	1,347,361	△ 83,131
会計委託費	1,100,000	1,090,000	10,000
警備等委託費	266,825	273,734	△ 6,909
租税公課	2,600	1,200	1,400
慶弔費	6,600	0	6,600
諸会費	13,473	15,636	△ 2,163
ホームページ管理費	308,385	285,024	23,361
雑費	94,715	129,498	△ 34,783
管理費計	14,105,802	19,434,770	△ 5,328,968
経常費用計	86,798,277	105,190,251	△ 18,391,974
当期経常増減額	17,657,188	△ 528,022	18,185,210
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産評価損	0	563,368	△ 563,368
電話加入権評価損	0	563,368	△ 563,368
固定資産評価損計	0	563,368	△ 563,368
経常外費用計	0	563,368	△ 563,368
当期経常外増減額	0	△ 563,368	563,368
当期一般正味財産増減額	17,657,188	△ 1,091,390	18,748,578
一般正味財産期首残高	219,783,011	220,874,401	△ 1,091,390
一般正味財産期末残高	237,440,199	219,783,011	17,657,188
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	237,440,199	219,783,011	17,657,188

3. 正味財産増減計算書内訳表 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計					小 計	法人会計	内部取引消去	合 計
	調査研究、普及、教育研修事業	研究助成事業	安全対策事業	公益共通					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
研究助成事業基金運用益	0	20,255	0	0	0	20,255	0	0	20,255
研究助成事業基金受取利息	0	700	0	0	0	700	0	0	700
創立40周年記念事業資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	63,000	0	63,000	27,000	0	90,000
受取人會費	0	0	0	0	0	0	26,568,000	0	88,560,000
受取會費	0	0	0	61,992,000	0	61,992,000	0	0	61,992,000
受取寄付金	0	0	0	13,091,252	0	13,091,252	0	0	13,091,252
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修セミナー共催費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修セミナー参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	445	0	445	0	0	445
受取利息	0	0	0	2,692,813	0	2,692,813	0	0	2,692,813
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	20,955	0	77,839,510	0	77,860,465	26,595,000	0	104,455,465
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	8,050,859	4,025,428	2,012,714	0	0	14,089,001	0	0	14,089,001
法定福利費	1,196,096	598,048	299,024	0	0	2,093,168	0	0	2,093,168
退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人材派遣費	215,424	107,712	53,856	0	0	376,992	0	0	376,992
退職給付費用	205,092	102,546	51,273	0	0	358,911	0	0	358,911
福利厚生費	40,365	20,184	10,092	0	0	70,641	0	0	70,641
会議費	8,000	0	0	0	0	8,000	0	0	8,000
旅費交通費	458,180	50,000	25,000	0	0	533,180	0	0	533,180
通信運搬費	1,673,760	115,412	86,820	0	0	1,875,992	0	0	1,875,992
事務消耗品費	959,404	479,702	239,851	0	0	1,678,957	0	0	1,678,957
印刷製本費	16,714,588	34,816	736,148	0	0	17,485,552	0	0	17,485,552
水道光熱費	80,883	40,442	20,221	0	0	141,546	0	0	141,546
家賃	1,685,640	842,820	421,410	0	0	2,949,870	0	0	2,949,870
謝金	0	256,151	0	0	0	256,151	0	0	256,151
原稿料	1,897,500	0	198,744	0	0	2,096,244	0	0	2,096,244
講演料	668,220	0	0	0	0	668,220	0	0	668,220
諸会費	17,964	8,982	4,491	0	0	31,437	0	0	31,437
警備等委託費	355,765	177,884	88,942	0	0	622,591	0	0	622,591
ホームページ管理費	411,180	205,590	758,945	0	0	1,375,715	0	0	1,375,715
透析医療費実態調査費	2,807,292	0	0	0	0	2,807,292	0	0	2,807,292
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	100,000
調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修セミナー開催費	2,346,050	0	0	0	0	2,346,050	0	0	2,346,050
講演会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修会等助成費	200,000	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000

(単位：円)

4. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高

基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小 計	202,004,889	0	0	202,004,889
特定資産				
退職給付引当資産	6,464,610	512,730	0	6,977,340
創立40周年記念事業積立資産	7,000,000	2,000,000	0	9,000,000
小 計	13,464,610	2,512,730	0	15,977,340
その他固定資産				
電話加入権	4	0	0	4
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
小 計	6,350,004	0	0	6,350,004
合 計	221,819,503	2,512,730	0	224,332,233

(3) 基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳

基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
小 計	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,977,340	(0)	(0)	(6,977,340)
創立40周年記念事業積立資産	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)
小 計	15,977,340	(0)	(9,000,000)	(6,977,340)
その他の固定資産				
電話加入権	4	(0)	(4)	(0)
淡路建物ビル保証金	6,300,000	(0)	(6,300,000)	(0)
警備保証金	50,000	(0)	(50,000)	(0)
小 計	6,350,004	(0)	(6,350,004)	(0)
合 計	224,332,233	(0)	(217,354,893)	(6,977,340)

5. 附属明細書

(1) 基金, 特定資産, その他の固定資産の明細
財務諸表に対する注記(2)に記載している。

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増減額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
退職給付引当金	6,464,610	512,730	0	0	6,977,340
合計	6,464,610	512,730	0	0	6,977,340

6. 財産目録(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	46,118
	定期預金	三菱UFJ銀行	〃	700
	普通預金	りそな銀行	〃	707,866
		三菱UFJ銀行	〃	21,311,245
	振替口座	ゆうちょ銀行	〃	6,362,014
流動資産合計				28,427,943
(固定資産)				
基金	研究助成事業基金	三菱UFJ銀行	公益目的保有財産であり, 運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
特定資産	定期預金			
	退職給付引当資産	三菱UFJ銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	6,977,340
	創立40周年記念事業積立資産	三菱UFJ銀行	創立40周年記念事業の支払財源として積み立てている	9,000,000
			〈特定資産合計〉	15,977,340
その他固定資産	電話加入権		共用財産であり, うち70%は公益の用に供し, 30%は管理運営の用に供している	4
	淡路建物ビル保証金	(有)淡路建物ビル	〃	6,300,000
	警備保証金	セコム(株)	〃	50,000
			〈その他固定資産合計〉	6,350,004
固定資産合計				224,332,233
資産合計				252,760,176
(流動負債)				
	預り金	会員	会費(重複納入)の預り分	190,000
		職員	源泉所得税の未払い分	199,912
		〃	健康保険の未払い分	67,500
		〃	厚生年金の未払い分	105,225
	未払金	研究助成決定者(5名分)	研究助成費の未払い分	7,780,000
流動負債合計				8,342,637
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に備えたもの	6,977,340
固定負債合計				6,977,340
負債合計				15,319,977
正味財産				237,440,199

監査報告書

令和3年4月8日

公益社団法人日本透析医会
会長 秋澤 忠男 殿

公益社団法人日本透析医会

監事 岩崎 文昭 ㊞

監事 杉崎 弘章 ㊞

監事 渡邊 有三 ㊞

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第2号議案

役員（理事及び監事）選任の件

令和3年度通常総会の終結の時をもって任期満了となる役員（理事29名及び監事1名）の選任について、下記の理事29及び監事1名の候補者を選任していただきたくお願いいたします。

なお、役員任期は、「令和3年5月16日から令和5年度通常総会の終結の時まで」の2年間となります。

1. 理事（定数30名 候補者29名）

[重任]

秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
東 伸宣	特定医療法人財団松圓会 理事長（東葛クリニック病院）
安藤 亮一	医療法人社団清湘会 清湘会東砂病院 副院長
伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科 診療教授
今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
加藤 明彦	浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 病院教授
久木山 厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 顧問
隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
酒井 謙	東邦大学腎臓学講座 教授
佐藤 壽伸	医療法人宏人会 統括顧問（中央クリニック）
佐中 孜	医療法人社団韌生会 メディカルプラザ市川駅 院長
穴戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
鈴木 都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
土谷 晋一郎	特定医療法人あかね会 会長（土谷総合病院）
戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 副理事長・名誉院長
百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）
依藤 良一	医療法人社団仁成会 仁成クリニック

[新任]

菊地 勘	医療法人社団豊済会 理事長（下落合クリニック）
比嘉 啓	医療法人麻の会 首里城下町クリニック第二 院長

2. 監事（定数3名 候補者1名）

[新任]

篠田 俊雄	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
-------	------------------------

※定数3名のうち2名は、令和2年度通常総会において選任済み（任期：令和4年度通常総会の終結の時まで）

公益社団法人日本透析医会雑誌投稿規程

1. 本誌は、公益社団法人日本透析医会の機関誌であり、透析医療及び腎不全対策並びにその関連領域の進歩と公益に寄与することを目的とする。
2. 投稿資格

筆頭著者は当会の会員とする。ただし、当会の会員以外の者であっても会誌編集委員会の承認を得た場合には、この限りでない。
3. 本誌への投稿は、原著、総説、実態調査報告、公募研究報告、短報、症例報告、編集者への手紙、その他とする。
4. 著作権について

本誌に掲載後の著作物に関する権利は、公益社団法人日本透析医会に帰属するものとする。

論文の内容については、著者が責任を負う。
5. 原稿送付

原稿は、e-mail添付による投稿とする（e-mail: info@touseki-ikai.or.jp）。もしくは、原本1部、コピー2部及び原稿データ(図表含む)を収録した電子記憶媒体を簡易書留便で郵送する。

(送付先)

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 1-15-2 淡路建物ビル 2F
公益社団法人日本透析医会事務局
6. 掲載原稿の採否及び順位は、会誌編集委員会で決定する。
7. 編集の都合により、原文の論旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることがある。
8. 校正は初校のみ著者が行い、誤植の訂正程度にとどめ、頁数の変更(増減)、図版の移動をしない。再校以後は会誌編集委員会において行う。
9. 原則として掲載料は無料とする。別刷は30部までは無料とし、それを超える分は著者の実費負担とする。
10. 掲載原稿(図表などを含む)は、原則として返還しない。
11. 原稿執筆の要領は次のとおりとする。要領に合わない場合は著者に修正を求める。
 - (1) 原稿の長さは、原著、総説及び実態調査報告は12,000字、公募研究報告は8,000字、短報は3,200字、編集者への手紙は1,000字までとする。ただし、図表1枚につき400字を減ずる。

なお、症例報告は、以下のとおりとする。

 - ・症例報告は6,000字以内とし、要旨(600字以内)、緒言、症例、考察、結語、倫理的配慮、利益相反、文献の形式とする。
 - ・個人情報に配慮し、個人を特定できないよう十分な匿名化を行う。
 - ・倫理的配慮には、患者及び家族より文書同意を得ていることを記載する。
 - ・医薬品の適応外使用や未承認治療を行った報告は、倫理審査を経ていることを記載する。
 - (2) 原稿は、邦文とし、横書き、口語体、平仮名、当用漢字、現代仮名使いを使用する。
 - ① 原著として投稿する場合は、要旨(600字以内)、緒言、対象・方法、結果、考察、結語、利益相反、文献の形式とする。
 - ② 総説、その他は、特に形式を定めないが、最初に要旨(600字以内)を記載する。総説の引用文献は、読者に教育的で有用なものを選ぶ。
 - ③ いずれの場合も簡略化題名及び5語以内のキーワードを記載する。
 - ④ 原著、総説、公募研究報告には題名、著者名に英文を併記する。
 - (3) 邦文の標題を、図は下方に、表は上方に付ける。表中では縦線は入れない。各図表には簡潔な説明を付け、そこに表中で使用されている略語のフルスペルを記載する。

写真は図とする。カラー写真の印刷にかかる費用は、原則として著者の実費負担とする。
 - (4) 図表の引用の場合は、著者が出版社の承諾を得てその出典を明らかにする。
 - (5) 図表は本文中に入れ込まず、挿入箇所を本文中に明記する。
 - (6) 外国人名、地名、薬品名は、原語またはカタカナを用い、明瞭な活字体とする。

なお、薬剤名は一般名とし、必要な場合は商標名を括弧内に記載する。
 - (7) 度量衡は国際単位(SI)とし、km, mm, L, dL, mL, kg, g, mg, mEq/L, mg/dLなどを用い、数字は算用数字(1, 2, 3など)を用いる。
 - (8) 略語を使用する場合には、初出の箇所で正式名称を用いた後に括弧書きでフルスペルを記載し、略語を定

義する。要旨にも略語を用いることができるが、本文で同じ略語を用いる場合においても、本文の初出時に再度定義する。

(例) 慢性腎臓病 (chronic kidney disease; CKD)

(9) 引用文献数は、原則として30以内とし、本文の引用箇所に順次番号を付し、本文の末尾に一括して、次の形式に従い引用順に記載する。

① 書籍は、著者名(3名までは全員記載、4名以上の場合は3名まで記載し、以下は「他」、または「et al.」として省略)著者名:論文名. 編者名. 書籍名. 所在地:出版社名, 発行年(西暦):頁(始頁-終頁)の順に記載する。

(例) 浅野 泰:透析低血圧の病因. 長澤俊彦, 河辺香月, 伊藤克己, 他編. Annual Review 腎臓 1998. 東京:中外医学社, 1998: 148-153.

② 雑誌は、著者名(3名までは全員記載、4名以上の場合は3名まで記載し、以下は「他」、または「et al.」として省略)著者名:論文名. 雑誌名 発行年(西暦):巻:頁(始頁-終頁)の順に記載する。

(例) Manto A, Cotroneo P, Marra G, et al.: Effect of intensive treatment on diabetic nephropathy in patients with type I diabetes. *Kidney Int* 1995; 47: 231-233.

雑誌名は略名(外国雑誌はIndex Medicus, 邦文雑誌は出典雑誌の定める略名)で記載する。ただし、種々の学会の「予稿集」は、引用文献としては認められない。(抄録が学会誌の一部として公表されている場合は可)

③ 電子ジャーナルの引用は、雑誌に準じ最後に、論文番号. doi:(アクセス日)を付記する。

④ インターネット上の資料は、著者名等「タイトル」URL(アクセス日)の順に記載する。

(例) 厚生労働省「医薬品の薬価収載等について」
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/01/dl/s0114-7a.pdf> (2009/2/12)

12. 倫理

(1) ヒトを対象とする調査研究は、世界医師会によるヘルシンキ宣言を基礎とし、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守すること。その他、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「研究機関

等における動物実験等の実施に関する基本指針」等、最新の文部科学省・厚生労働省の医学研究に関する倫理指針に準拠していることを論文中に明記する。また、倫理委員会より承認を得た場合は、その旨及びその承認番号を論文中に明記する。

(2) 診療報酬制度で認められていない治療法を用いた臨床研究については、その旨及び患者の同意を書面により得たことを論文中に明記する。

13. 利益相反

著者は、論文の研究について利益相反状況を開示しなくてはならない。自己申告による「日本透析医会雑誌:自己申告による利益相反(COI)報告書」(別紙1)を提出する。また、本文の末尾にも記載する。申告すべきものがない場合は、「利益相反自己申告:申告すべきものなし」と記載する。

共著者がいる場合、筆頭著者は論文提出時に全員の出版合意「筆頭著者ならびに共著者の同意書」(別紙2)及び「日本透析医会雑誌:自己申告による利益相反(COI)報告書」を取りまとめて提出する。

14. 多重投稿(出版), 盗用, 及び捏造

多重投稿(出版), 盗用, 及び捏造が認められた場合には、掲載を取り消すことがある。

総説などにおいて、すでに投稿(出版)された論文と内容・構成が著しく重複する場合には、投稿の際にその旨を会誌編集委員会に申告する。また、新たに加筆修正されたものであれば、その旨を論文末尾に記載する。その論文を多重投稿(出版)とみなすか否かは会誌編集委員会で決定する。

附則

1. 本規程は、平成31年2月22日から施行する。
(平成31年2月22日理事会決議)

附則

1. 本規程は、令和2年2月28日から施行する。
(令和2年2月28日理事会決議)

附則

1. 本規程は、令和3年2月26日から施行する。
(令和3年2月26日理事会決議)

別紙 1

日本透析医会雑誌：自己申告による利益相反（COI）報告書

（著者全員について、投稿又は発表時点の前の年から過去3年間分及び投稿又は発表時点までの期間を対象に、発表内容に関係する企業・組織又は団体との利益相反状態を1人ずつ、1年ごとに責任著者が取りまとめて提出）

申告期間： 年 月 日 ～ 年 月 日（年は1月1日～12月31日とする。）

著者名：

論文題名：

項 目	該当の 状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
① 役員、顧問等の報酬額 （1つの企業・団体から年間100万円以上）	有・無	
② 株式の利益 （1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有）	有・無	
③ 特許使用料 （1つにつき年間100万円以上）	有・無	
④ 講演料 （1つの企業・団体からの年間合計50万円以上）	有・無	
⑤ 原稿料 （1つの企業・団体からの年間合計50万円以上）	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 （1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上）	有・無	
⑦ 奨学（奨励）寄付金など総額 （1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が100万円以上）	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄附講座 （企業などからの寄附講座に所属している場合に記載）	有・無	
⑨ 研究、著作等とは無関係な旅費、贈答品などの受領 （1つの企業・団体からの年間5万円以上）	有・無	

（本報告書は、申告日より5年間保管されます。）

（申告日） 年 月 日

申告者（署名捺印）

㊟

別紙2

年 月 日

筆頭著者ならびに共著者の同意書

日本透析医会 会誌編集委員会委員長 殿

論文カテゴリー：該当欄に☑を記載

- | | | |
|---------------------------------|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 原 著 | <input type="checkbox"/> 総説（研修セミナー講演報告書を含む。） | |
| <input type="checkbox"/> 実態調査報告 | <input type="checkbox"/> 委員会・会議報告書 | <input type="checkbox"/> 公募研究助成報告 |
| <input type="checkbox"/> 短報 | <input type="checkbox"/> 症例報告 | <input type="checkbox"/> 支部の特別講演抄録 |
| <input type="checkbox"/> 支部だより | <input type="checkbox"/> 編集者への手紙 | <input type="checkbox"/> その他 |

タイトル： _____

筆頭著者氏名（自筆）： _____

代表著者氏名（筆頭著者と同じ場合は記載不要）： _____

上記論文の日本透析医会雑誌への掲載にあたり、論文の内容と投稿に同意すること、また著作物に関する権利は公益社団法人日本透析医会に帰属することなどについて、共著者全員の同意を得ていることを証明するため、共著者全員の自筆署名を提出いたします。

共 著 者 氏 名	署名日（ 年 月 日）
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
6.	
7.	
8.	
9.	
10.	

（共著者が10名を超える場合には余白に記載してください。）